

取り付けできない天井・配線器具

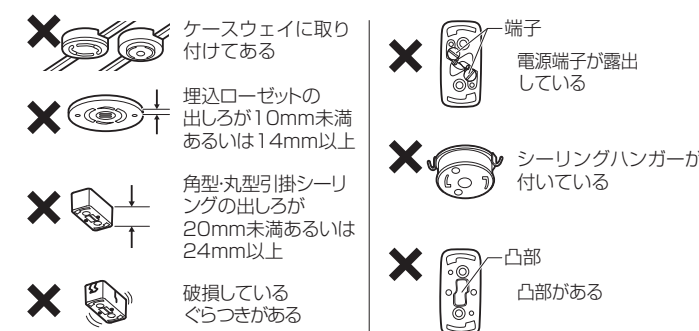
次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



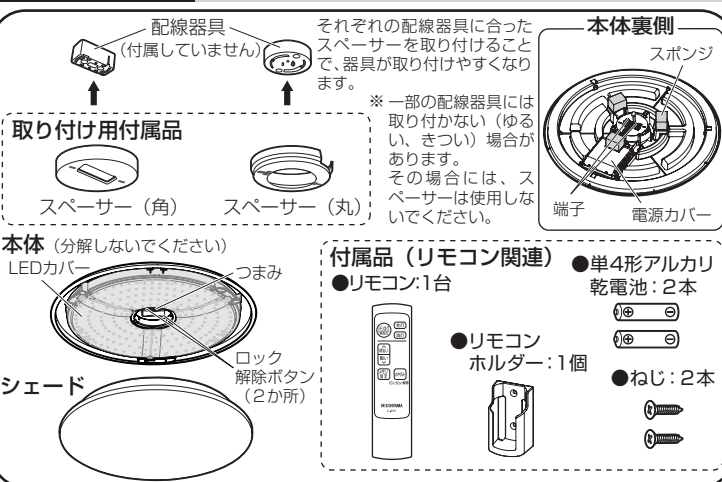
次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事に依頼してください。（配線器具の交換は資格が必要です）



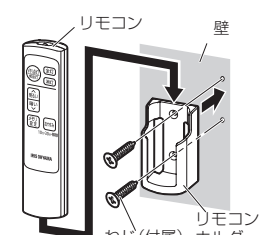
各部の名称

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
●表記以外の部材は梱包材です。



リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。
※収納した状態で操作しないでください。



乾電池の入れかた

1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる
2 表示に合わせて⊕⊖を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める

●電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで約1年です。付属の電池は動作確認用であり上記より早く消耗することがあります。
●電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
●新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
●長期間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。

チャンネルの設定変更について

※出荷時はCH1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON (入) になっていることを確認してから、変更してください。

リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを変更してください。

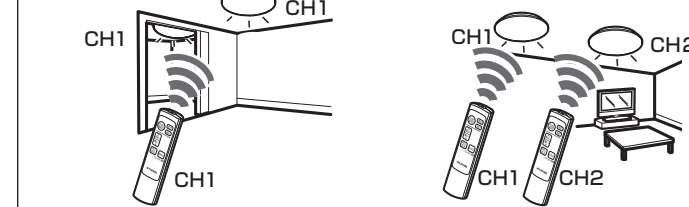
※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が本体にも送られます。



複数の照明器具がある場合

●1つのリモコンで操作する
複数の照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。

●別々のリモコンで操作する
隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



●ご注意
複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更したい照明器具だけが信号を受ける向きに向けるか、設定を変更したい照明器具に近づけるなどして設定してください。
他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。
※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF (切) にしたり、間に扉があればその扉を閉めて、設定変更を行ってください。

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

●必ず壁スイッチをOFF (切) にするか、電源を遮断してください。感電事故の原因となります。
●消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。

1 水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。



絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

取り付け

⚠警告 取り付けは必ず電源を遮断してから行ってください。

1 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

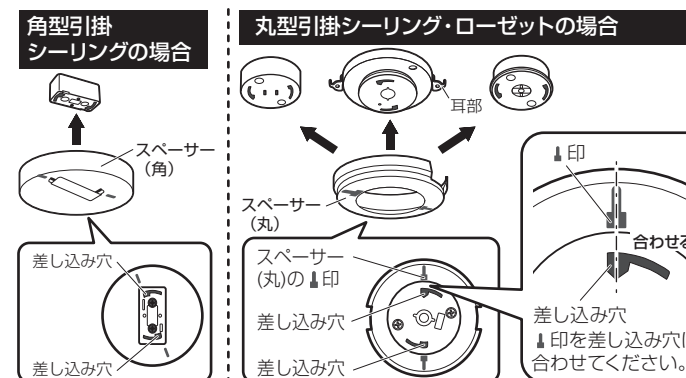
⚠注意 高所での作業になります。必ず足元の安全を確保してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。
電気店、または工事に依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出し	20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満	天井からの出し
形状	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット	埋込引掛ローゼット
	角型引掛シーリング	丸型引掛フル引掛 丸型フル引掛	埋込ローゼット (耳つき)
	角型引掛シーリング	丸型引掛フル引掛 丸型フル引掛	埋込ローゼット (耳なし)

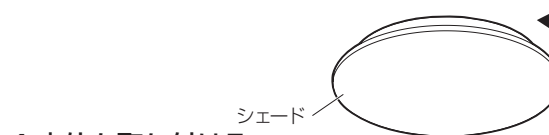
2 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)
※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。



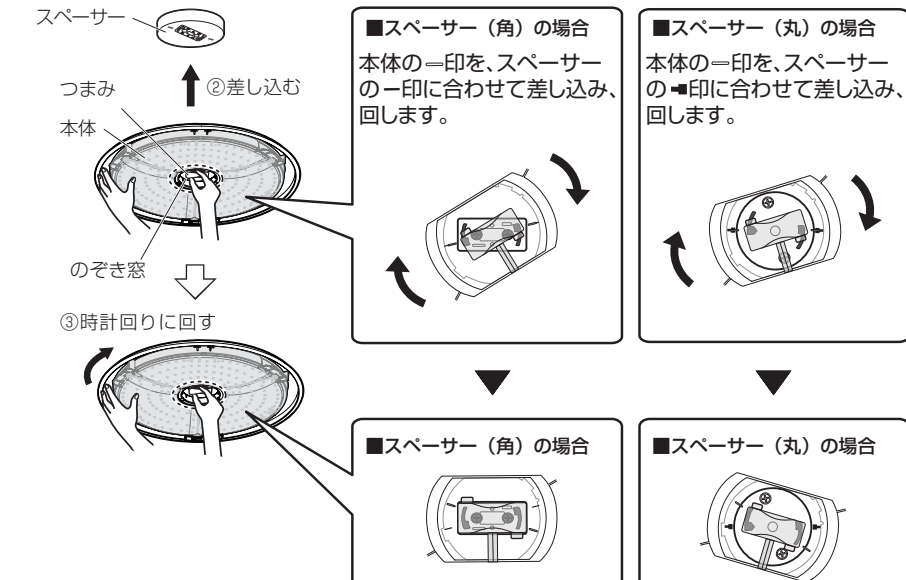
3 シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



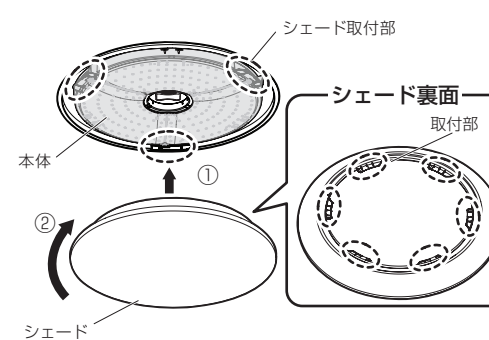
4 本体を取り付ける

①本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の(端子)差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
③つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン(「取り外し」参照)は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。
※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。



5 シェードを取り付ける

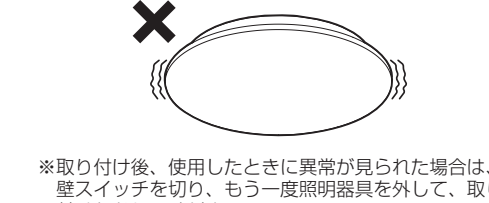
①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。
シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。
②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。



⚠注意 本体を必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットが破損します。

⚠警告 シェードは確実に本体に取り付けてください。落下によるけがのおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



取り外し

⚠警告 ●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
●消灯直後は本体や器具の中が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1 シェードを取り外す

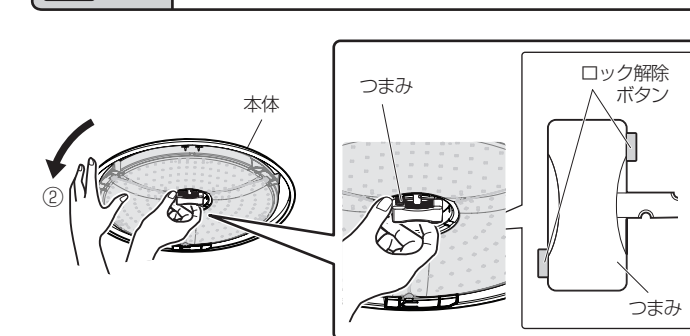
シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



2 本体を取り外す

①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ同時に押しながら、
②反時計回りに回して本体を外してください。

⚠注意 本体を片方の手で支えながら外してください。器具の落下によるけがや破損の原因となります。



3 スペーサーを取り外す

⚠注意 本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。

